

教科	国語	科目名	現代文B	単位数	2
学科	全学科	学年	2 学年	履修区分	必修
使用教科書	三省堂『明解現代文B』				
副教材など	文字力問題、クリアカラー国語便覧、国語辞典、				

1. 科目の目的

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2. 授業の内容と進め方

- ・論理的な文章を扱う場合、構成や展開に注意して内容を理解し、主題を的確にとらえることを目指します。また、必要に応じて要約も行います。
- ・文学的な文章を扱う場合、人物や情景、心情などを表現に即して読み味わい、書き手の意図を的確にとらえることを目指します。
- ・文章を読んで批判することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする態度の育成を目指します。
- ・目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現することを目指します。
- ・漢字の読み、書き、語句の意味、用法を的確に整理し、語彙を豊かにすることを目指します。
- ・文や文
- ・授業には集中して臨み、ノートはきちんと取るのはもちろんのこと、必要なことは自分でメモしたり、まとめたりすること。

3.

- ・準備をするように指示された教材は、必ず学校へ持参すること。また、配布されたプリント類はノートに貼るなどして整理に努めること。
- ・不確かな言葉があった場合は、必ず辞書を引いて正確な理解や表現に努めること。
- ・家庭学習課題として出されたものは、辞書や便覧等を利用して自分の力で行い、提出期限を厳守すること。また、やむを得ず期限を遅れる場合は、必ずその旨を教科担当者へ連絡すること。
- ・日ごろから新聞や書物を読んで、自分の考えを表現するための材料集めに努めること。

4. 課題等について

- ・語彙を豊かにし、国語についての知識を深めるために、主に文字力問題やクリアカラー国語便覧をもとにした家庭学習課題を出すことがあります。

5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評価規準
関心・意欲・態度	1. 文章の内容や特色を進んで読み取り、自分の意見や考えを広げたり深めたりしたか。 2. 言葉に関心を持って適切に使用したり、自分の考えを進んで伝えたりしたか。 3. 辞書や図書館などの資料を利用し、疑問点や興味のあることを進んで調べようとしたか。
話す・聞く能力	1. さまざまな問題について自分の考えを持ち、筋道を立てて話したか。 2. 目的や場面にに応じて効果的に話したり、相手の話を的確に聞き取ったりしたか。 3. 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場に立って話し合いを行ったか。
書く能力	1. 相手や目的に応じて題材を選び、効果的な表現を考えて書いたか。 2. 論理的な構成を工夫し、自分の考えを深め、文章にまとめたか。 3. すぐれた文章に接してその条件を考え、自分の表現に役立てたか。
読む能力	1. さまざまな文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、要約したりしたか。 2. 文章を読んで構成や表現の特色をとらえたり、人物の心理描写や情景描写を味わったか。 3. 積極的に読書に親しみ、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりしたか。
知識・理解	1. 目的や場に応じた話し方や言葉づかい、文法、漢字等を理解して、語彙を豊かにしたか。 2. 国語の成り立ちや特質、言語の役割などを正しく理解したか。

6. 評価の方法

- ・定期考査
- ・小テスト
- ・教材の準備、学習活動への参加姿勢や態度
- ・授業ノート
- ・作品
- ・家庭学習課題の提出状況

《指導計画》 科目名 現代文B

2 学年

2 単位

学期	月	学習内容 (単元・考査等)	学習のねらい	評価方法等
一 学 期	4	授業を受けるにあたっての心構えについて		定期考査、小テスト、教材の準備、学習活動への参加姿勢や態度、授業ノート、作品、課題の提出状況により、総合的に評価する。
	5	春季課題復習 第 I 部 随想『春』(内山節)	・春休みの課題を確認する。 ・人は春になると安心を感じるのはなぜか。21世紀の科学の時代における人間と自然との関わり方について考えを深める。	
		中間考査		
	6	第 I 部 小説『水かまきり』(川上弘美)	・挫折した人間の鬱屈に思いを寄せ、人間と人間のつながりがどのように形成されていくものなのかを、実感を持って理解する。	
	7	第 I 部 評論『コンコルドの誤り』(長谷川真理子)	・人間がその行動や思考において「進化」から外れた「誤り」を犯すことについて、具体例を整理し、筆者の考えを理解する。	
		期末考査 第 I 部 短歌『ただ一枚の絵葉書』	・繰り返し音読してリズムを味わい、短歌に描かれた情景や心情を豊かに想像する。	
	二 学 期	9	第 I 部 随想『前の駅出ました』(佐藤雅彦)	
10		中間考査		
		第 I 部 評論『想像する力』(松沢哲郎)	・筆者の問題意識、具体例、考察という論理の展開を読み取り、チンパンジーと比較することで見いだせる人間の特徴を考える。	
11		第 I 部 小説『ナイン』(井上ひさし) インターンシップに向けて	・社会の変容に伴う人間関係の変化と、時代を超えた信頼や友情について考えを深める。	
12		期末考査 第 I 部 小説『こころ』(夏目漱石)	・本格的な長編小説に描かれた人間の心情や生き方を緻密な文章表現の中に深く追求し、人間の本質について考える。	
三 学 期	1	第 I 部 小説『こころ』(夏目漱石)		
	2	第 I 部 評論『自己について考えること』(竹田青嗣)	・「批判」「批評」「自己ルール」などの言葉を手がかりに、「自己」をどのように捉えるか、考えを深める。	
	3	学年末考査		